

# 二年学年だより

No. 2

5月号

令和5年5月1日発行

201HR

## 集団の力

2年生がスタートして早くも1か月が経ちました。みなさん、新しい教室、新しいクラスメイト、新しい環境には慣れてきたでしょうか。私も含めてまだまだ軌道に乗れていない人が多いように思いますが、とりあえず毎日学校に出てきて、やることをやって頑張っていきましょう。

さて、新型コロナウイルスに悩まされてきたここ数年ですが、徐々に様々なことが元に戻りつつあります。私が印象に残っているのは、4月当初の対面式で全校生徒が体育館に集まったことです。1000人を超える生徒が同じ場所に集まり、集会を行う光景はここ数年見なかったのですが、改めてその光景を見て「集団の力」を感じました。コロナ禍で様々なことがオンラインやリモートで行えるようになった時代ですが、やはり同じ空間、同じ場所で同じ方向を向き、話を聞くなどして同じ活動を行うことは大切なことだと思います。皆さんの声や気持ちが一つになったときの力はまだまだ未知数です。2年生は学校の中心的立場であると思いますので、学校行事などでその力を見せてほしいと思います。

ただ、集団の力には良くない面もあると思います。「みんなやっているから……」と自分の都合のよいように解釈して、悪いと分かっているでもしてしまうことはないでしょうか。また、最初の集会で学年主任の先生から注意を受けたことは覚えていますか。周りがゆっくり集まっていると自分もそうしてしまいがちです。でも、周りが素早い行動をしていると自分もそうしなければと行動すると思います。まずは自分が行動を変えるだけでも集団は良くなります。そして、集団は学校全体だけでなく、学年団としても、クラスとしても、部活動としても同じです。自分は集団の一員で、自分の行動が集団の評価につながるということを忘れずに過ごしてください。とりあえずはその典型例である修学旅行ですね。楽しみつつも「集団」としての皆さんの行動に期待します。

(201HR担任)

## 手帳の活用

皆さんはセントラルガイダンスを上手に活用しているだろうか。手帳を上手に活用することで、計画的に物事を進めることができる。自分のセントラルガイダンスを開いてみよう。どんな内容を記入しているだろうか。私も皆さんと同じセントラルガイダンスを使っているのだが、私なりの工夫を少し紹介しようと思う。私は左側の欄に、仕事の予定も、私的な予定も、事前に分かっている予定はすべて記入し、時間管理をしている。例えば、やらなければならないことがあれば、その期日の欄に「〇〇締切」と記入するのが一般的だろう。しかし、そうすると私の場合、締切間際まで気付かないということがしばしば起こる。(皆さんも宿題の期日を直前まで忘れていたという経験はないだろうか。)そこで、例えば「この学年だよりを発行する5月1日に間に合わせるためには……4月中旬くらいの日付の欄に『学年だより執筆』と書いておこう。」というように、仕事の締切日と開始日を書くようにしている。また、例えば部活動や漢字テストの予定など、月・年間の予定一覧で配られるものもあるだろう。こういったものもすべて各日に書き出すことで、手帳の左側さえ見ればすべての予定が把握できるというようにしている。(なおかつ、月・年間の予定一覧を縮小コピーなどして手帳に貼っておくとさらに便利)この作業は確かに面倒ではあるが、私にとって計画的に仕事を進めるうえで欠かせない作業となっている。皆さんもぜひ、自分の手帳の活用方法について見直して、勉強やプライベートを充実させてほしい。

(201HR副担任)